



発行
桐生山鳳仙寺
桐生市梅田町一丁目五八
電話(〇七)三十一一七
FAX(〇七)四〇一六〇〇

新年を迎えて「寅年」



新年明けましておめでとうございます。
寅年のお話を致します。
寅は、十二支の中でも勇ましいイメージがあるのですが、十二支の中では決断力と才知を持った性格とされ、意思が強く実行力もあるので、最後までやり抜く力があります。
また、面倒見の良さから頼られる事も多く、強いリーダーシップを発揮する事もあるようです。
寅の干支の由来として、こんな話があります。
その昔、虎は天に輝く星

であつたという言い伝えがあり、その美しい毛皮が夜空の星に例えられ、「枢星散じて寅となる」という言葉が残っています。
干支の由来に関連する虎の伝承に、粘菌の研究で知られた菌類学者で、博物学者でもあつた南方熊楠(みなみなくたぐすも)著書『十二支考』の中で「支那では人ばかりか枢星の精も虎と為るといふ」という記述をしております。
虎は十二支が成立した遥か昔から、畏れる動物と

秋葉三尺坊大祭と穆山瑾英大和尚・百回忌法要

10月16日(金) 午前11時より毎年恒例の行事である「秋葉三尺坊大祭」が厳修されました。今年はお祈禱に併せて鳳仙寺第二十五世である穆山瑾英大和尚の百回忌法要も行いました。

「桐生山鳳仙寺第二十五世・大本山總持寺独住第三世・穆山瑾英大和尚とは」

今年、12月4日は鳳仙寺二十五代目の住職を務められた穆山瑾英大和尚(ぼくざんきんえいだいお

しょう本名 西有 瑾英)の百回忌です。

穆山瑾英大和尚は、文政4年(1821)、青森県三戸郡湊村(現八戸市湊町)に誕生しました。

長流寺(八戸市)の金龍和尚に弟子入りし、法光寺(名川町)をはじめ、

仙台、江戸に出て修行を重ね、23歳にして鳳林寺(東京都新宿区)の住職となりました。

その後、宗参寺(東京都新宿区)、明治4年にここ鳳仙寺(桐生市)の

して神秘的な存在でした。当時の星とは、やはり天にあるものとして神秘的でありましたし、暦の上でも重要で、特に北斗七星は重要な星座で、その第一の星の名前は「天枢」と呼ばれています。
寅の方は、東北東よりやや北寄り(北東微南)の方角です。今年も良い年になる様に願いたいものです。

写真は前回の様子(成相寺にて)



○期日 平成22年4月19日(月) 2泊3日
○旅費 九万円(全食・観光付)
○募集人員 20名(定員になり次第締切ります)
○申込方法 申込書に必要事項をご記入の上、

皆様方におかれましては益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。

今回は、京都、滋賀、岐阜方面を巡拝します。

琵琶湖(おごと温泉)に連泊するゆつくりとした行程です。前回と同様、多数の皆様方のご参加を

お待ち申し上げております。

鳳仙寺「写経の会」

第八回写経の会開催のご案内です。鳳仙寺では年2回行っている恒例の行事です。2月15日は、涅槃会(ねはんえ)です。涅槃会とはお釈迦様がお亡くなりになった日です。当日は、涅槃会の法要を行います。

また、今回の写経の会は曹洞宗婦人会創立35周年記念行事とのタイアップ企画で、写経した「般若心経」を大本山永平寺へ納経する予定です。

【元慶寺】→【琵琶湖】16時30分 宿泊/おごと温泉

4月20日(火) 【琵琶湖】8時→彦根9時30分→竹生島・第三十番【宝厳寺】→彦根12時→第三十一番【長命寺】→第三十二番【観音正寺】→タクシー→琵琶湖17時 宿泊/おごと温泉

4月21日(水) 【琵琶湖】9時→第十四番【三井寺】→大垣→第三十三番【華嚴寺】→名古屋17時4分発→のぞみ→【東京】18時46分着

※円教寺・成相寺・松尾寺は秘仏本尊公開の予定です。

※詳細につきましては後日、「旅のしおり」にてご案内致します。

○旅行企画 鳳仙寺

正賀

住職 坪井 良廣
副住職 坪井 良樹
総代 石原 竹雄
太田 亨文
池田 伊佐男
峯崎 一男
田島 輝雄

世話人 東 洋一 小此木久四郎 下山博康
天笠勝美 金丸由太郎 田嶋愛子
石原信子 金子 清 盛治
板井政夫 金子宗吉 谷 啓
板倉光夫 木島幸雄 都筑啓友
岩崎岑生 木島富雄 長澤吉太郎
岩崎親道 桑子三喜男 長谷川孝元
内野正章 桑原金吉 羽田野百合子
梅澤守夫 小林當二 廣神重子
大里政由 小林満寛 平方佳介
岡村栄三 五味田 博 前原高男
岡島 栄 清水義男 吉田長生
小川廣夫 下山直二郎 (あいいうえお順)

※鳳仙寺婦人会の皆さんも一緒に参加します。
■参加費 一、〇〇〇円
持参品/小筆(または、筆ペンでも可)・ブンチン
※写経用紙(半紙)、手本、簡易硯、墨汁は用意いたします。
□スケジュール
13時 受付
13時10分 涅槃会法要 (お釈迦様の命日)
13時25分 写経
14時45分 読経
15時頃 涅槃団子入りおしる粉いただきます。
※締め切りは二月十二日(金)まで
※参加ご希望の方は、電話かFAXにてお申し込みください。
◆お申し込み・お問い合わせは お寺まで



初詣はぜひ菩提寺で!!

除夜の鐘で今年の厄払い

除夜の鐘

十二月三十一日は毎年恒例の「除夜の鐘」を行います。撞き始めは十一時四十五分頃。古いお札や縁起物は、境内にてお焚き上げをいたします。

本堂では甘酒や温かい珈琲の接待のほか、新春

祈禱、破魔矢などの頒布をおこなっています。

元旦0時からは本堂にて本年の厄を消除する、年始の一番最初のご祈禱であります「元朝大祈禱（がんちょうだいきと）」を行います。

ご家族の方、ご近所の方、皆さまお誘い合わせ

新春祈禱

元旦より五日まで新春祈禱を行っています。時間は、朝九時～午後四時頃まで。三十分～一時間間隔で随時申し込みができます。

新年を迎える事が出来た感謝と、新たな希望の成就を願って参加してください。尚、一月四日朝九時からの祈禱は大祭です。

また、電話やFAX、インターネットによる事前申し込みもできます。また、期間中に来山出来ない方はお札の郵送もいたしますのでお問い合わせください。

●鳳仙寺ホームページ
<http://www.hoseiji.or.jp/>

平成22年度 厄年表		
前厄	本厄	後厄
男		
60歳 昭和26年生	61歳 昭和25年生	62歳 昭和24年生
41歳 昭和45年生	42歳 昭和44年生	43歳 昭和43年生
24歳 昭和62年生	25歳 昭和61年生	26歳 昭和60年生
女		
36歳 昭和50年生	37歳 昭和49年生	38歳 昭和48年生
32歳 昭和54年生	33歳 昭和53年生	34歳 昭和52年生
18歳 平成5年生	19歳 平成4年生	20歳 平成3年生

尚、この表は満年齢に一歳を加えた数え年です。

坐禅と朝粥の会

当寺では、毎月一日(ついたち)・朝七時より八時まで「坐禅と朝粥の会」を行っています。どなたでも予約なしで自由に参加できますのでご家族・ご友人などお誘い合わせの上ご気軽に参加ください。

平成二十二年度は、お

正月(一月一日)はお休みで二月一日からとなります。朝は肌寒いので参加される方は暖かい格好にてご参加ください。

◆坐禅会の流れ
六時五〇分 坐禅の仕方(初めての方)
七時 坐禅
七時半 朝粥をいただきます
八時 解散



平成二十一年度 曹洞宗婦人会総会報告

去る5月19日(火)曹洞宗檀信徒会館三階に於いて、「平成21年度 曹洞宗婦人会総会」が開催されました。鳳仙婦人会からは、石原茂子、坪井みはと、2名が参加しました。全国各地の婦人会員が参集し大変有意義な総会となりました。総会の報告を曹洞宗婦人会機関誌「きやら」60号よりの抜粋です。

講演報告

大本山總持寺後堂盛田正孝老師の講演を拝聴しました。演題は、「本當

永見寺法類会鳳仙寺拝登

十一月十三日(金)、

永見寺法類会(代表・浅草・永見寺住職・葛西好雄老師)が鳳仙寺を訪れ、永見寺様にご導師をいただき拝登法要(鳳仙寺の歴代住職へのご挨拶)が行なわれました。法類とは、代々受け継がれた師弟関係の繋りで、当寺の住職と副住職は永見寺の法類会に属しています。曹洞宗の法灯は、師弟関係を通して、代々、後世へ引き継がれていきます。同じ教えを受け継い

だ法類が全国各地で活躍されています。

血縁関係で結ばれた親族とは違う、法で結ばれた法類は不思議なご縁だと思えます。沢山の法類の方に拝登いただき素晴らしい法要となりました。



平成二十二年度 年回表

一周忌	平成二十一年
三回忌	平成二十年
七回忌	平成十六年
十三回忌	平成十年
十七回忌	平成六年
二十三回忌	昭和六十三年
二十五回忌	昭和六十一年
二十七回忌	昭和五十九年
三十三回忌	昭和五十五年
三十七回忌	昭和四十九年
四十三回忌	昭和四十三年
四十七回忌	昭和三十九年
五十四回忌	昭和三十六年
百回忌	明治四十四年

日曜・祝日の御法事お申込みは、お早めにお願ひします。